

## 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

病院長名	佐藤 公治
所在地	〒466-8650 愛知県名古屋市昭和区妙見町2番地の9
交通案内	地下鉄：名城線八事日赤駅下車 2番出口すぐ バス：市バス妙見町行 八事日赤病院停下車

### □ 病院の特徴

当院は、歴代院長が首尾一貫した方針で病院の進むべき方向性を定め、歴史と伝統である救急医療、高度医療、災害救護と国際救援、周産期医療、医療連携、研修医教育などを推進することによって現在の病院にまで発展してきました。

特に“研修医は病院発展の原動力”との考えのもと、研修医教育には最重点を置き研修医教育指導体制の充実を図ってきました。そして、さらなる充実した研修医教育を実現するため、2013年4月から新たに臨床研修部を創設いたしました。

### □ 研修プログラムの特徴

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院小児科領域専門研修プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づいて3年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指して頂きます。

名古屋市立大学病院小児科、あいち小児保健医療総合センター、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院での院外研修が可能です

#### ■ 研修スケジュール（例）

<専門研修1年目>

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 NICU で新生児疾患・先天異常疾患の研修

※研修初年度は、2ヶ月間救急科で救急診療の研修を行います。

<専門研修2年目>

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院小児病棟で感染性疾患・内分泌代謝疾患・血液腫瘍疾患・アレルギー疾患・呼吸器疾患・消化器疾患・腎泌尿器疾患・循環器疾患・神経疾患を担当医として研修します。

<専門研修3年目>

小児科外来での一般診療および、乳児健康診査と予防接種などの小児保健・社会医学を研修します。循環器、アレルギー、腎臓、血液、神経、精神、内分泌の専門外来の研修も行います。



### □ 主な連携施設

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、あいち小児保健医療総合センター、名古屋市立大学病院

### □ メッセージ

第一小児科部長・小児科 PG 責任者/小児科 石井 睦夫

「あらゆる経験が出来る総合小児科」

圧倒的な症例数の多さを誇り、様々な分野の専門ドクターが在籍している総合小児科です。プログラムは、院内外でさまざまな経験ができるように配慮しました。ぜひこの上ない恵まれた環境の中で、思う存分小児医療を学んでください。

「世界一の NICU でともに働こう」第一新生児科部長 幸脇 正典

2013年に完成した NICU は、新生児はもちろん、その家族にも、働く人にも優しい施設。世界の NICU だと自負する自慢の施設の中でともに働いてみませんか。

「小児科医療を学ぶには最高の環境」小児アレルギー科 神田康司

当院は一般病院からの紹介や救急の患者が多いのが特徴。重症者も多く、難しい症例も経験することができるので、知識を身につけるには最高の環境です。

「先端 IT システムに触れる」第二小児科部長兼医療情報部長 岸 真司

当院では IT 化を推進。症例情報など、必要な時に必要な情報がその端末でも検索できるシステムを構築しています。先端の技術に触れることも勉強になるのでは。

「国内トップレベルの医療を提供」小児腎臓科部長 後藤 芳充

腎臓病総合医療センターとして高度な医療を提供。全国から患者が訪れ、腎移植件数では日本の5指に入るほど。高いレベルの中で活躍できる人材を求めています。

### □ 募集要項

・採用予定人数	4 人
・給与/月額	3年目 平均約 750,000 円/月
・当直回数/月	6-7 回/月 診療科によって異なる
・当直料/回	
・その他	
・応募連絡先	担当者 教育研修管理課
	電話番号 052-832-1121
	Eメール education@nagoya2.jrc.or.jp

